

旅だより（2）

「同じ神様を礼拝するにしても・・・」

黒田 朔



同じ挨拶でも、人種、文化によってあいさつの仕方が違うように、同じ主を礼拝する礼拝でも、礼拝の仕方が違います。日本人にとっては聖よく、義しい神様ですが、アメリカ人にとっては愛に満ちた、慕わしい神様です。だから、日本とアメリカでは礼拝においても、神様に近づく礼拝の仕方や雰囲気の違いがあります。ところが、今回の旅で、日曜日にハワイの英語の教会と日本語の教会の礼拝

に参加して分かったことは同じハワイの教会でも、アメリカの教会と日系教会ではその礼拝の仕方や雰囲気の違いがあることで、面白いと思いました。朝早く出席した英語の教会ではプログラムも無く、賛美も明るく、自由な雰囲気でしたが、その後で出席したマキキ教会の日本語部礼拝ではプログラムに沿って捧げる日本の教会に近い礼拝でした。そして、どちらも良い礼拝でした。高齢者の多い阪南バイブルチャペルでも、自分たちに合った神様の礼拝の仕方を考え、工夫しても良いのかな・・・と考えさせられたことでした。

全地よ【主】に向かって喜びの声をあげよ。喜びをもって【主】に仕えよ。喜び歌いつつ御前に来たれ。知れ。
【主】こそ神。主が私たちを造られた。私たちは主のものの主の民その牧場の羊。感謝しつつ主の門に賛美しつつその大庭に入れ。主に感謝し御名をほめたたえよ。【主】はいつくしみ深くその恵みはとこしえまでその真実は代々に至る。

詩篇 100 篇

